



JP 取扱説明書 1~8頁
原文翻訳：本日本語訳は、シュメアザール本社のドイツ語原文を基に作成されたものであり、翻訳上の疑義がある場合、原文及び英文のみが有効となります。

目次

1 この文書について	
1.1 機能	1
1.2 対象：認定された有資格者	1
1.3 使用記号の説明	1
1.4 安全上のご注意	1
1.5 誤った使用に関する警告	1
1.6 免責事項	1
2 製品内容	
2.1 品番	1
2.2 特殊仕様	2
2.3 目的と使用	2
3 取り付け	
3.1 通常に取り付け方法	2
3.2 取り付けオプション	2
3.3 外形図	3
3.4 手順	4
4 付録	
4.1 セットアップチェックリスト	8

1. この文書について

1.1 機能

この取扱説明書は、製品の取り付け 据付 試運転 安全操作 取り外しに必要な全ての情報を提供します。取扱説明書は、読み易い状態で、完全版を機器の付近に保管してください。

1.2 対象：認定された有資格者

この取扱説明書に記載された全ての操作は、使用者によって認められた専門技術者が行ってください。

この取扱説明書を熟読し、コンポーネントの据付及び運転の前に、労働安全及び事故予防のための適用可能な全規定に付いてご確認ください。

機械製造者は、準拠すべき整合規格や、部品の選択、取り付け、インテグレーションに関するその他の技術仕様を慎重に選択する必要があります。

1.3 使用記号の説明



情報：

この記号は、有用な追加情報を示します。



注意： 取り扱いを誤った場合に、故障、機能不良が想定される内容を示しています。

警告： 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

1.4 安全上のご注意

使用者は、本取扱説明書に記載されている安全に関する指示、各国固有の設置基準、および一般的な安全規則や事故防止規則を遵守しなければなりません。



詳細な技術情報についてはシュメアザールカタログ、又はインターネット (products.schmersal.com) 上のオンラインカタログをご参照下さい。

仕様などの記載内容について予告なく変更する事があります。あらかじめご了承ください

取付、据付、操作及び保全に関する説明書と同様に安全に関する注意が遵守されていれば、残留リスクはありません。

1.5 誤った使用に関する警告



本製品に対する不適切な使い方や、無効化により、人への危険や機械設備への損傷を招く事があります。

1.6 免責事項

誤った取り付けやこの取扱説明書を正しく理解していないために起こった損害、故障は、シュメアザールの免責事項となります。誤った取り付けやこの取扱説明書を正しく理解していないために起こった損害、故障は、シュメアザールの免責事項となります。

安全上の理由から、デバイスに対する独自の変更や不適切な修理、部品の交換や改造は厳として認められず、それが理由で発生した故障や事故に対し、シュメアザールは責任を一切負いません。

2. 製品内容

2.1 品番

本取扱説明書は以下の型式名を対象としています。

AZ/AZM201-B40-①TA②③

番号	記号	説明
①	L	左開き用ドアヒンジ
	R	右開き用ドアヒンジ
②	G1	ドアハンドル付き
	G2	ドアノブ付き
③	P1	緊急脱出機能付き
	P20	金属製緊急脱出機構付き
	P25	緊急脱出機構インセットハンドル付き



アクチュエータユニットAZ/AZM201-B40...は、AZ/AZM201シリーズの基本コンポーネントとの組み合わせ専用です。



この取扱説明書に記載された情報が正しく実現されている場合のみ、機械指令に関連したシステム全体の安全機能、従ってコンプライアンスは維持されます。

2.2 特殊仕様

2.1項の型式記号に挙げられていない特別仕様は、一般仕様に準じます。

2.3 目的と使用

電磁ロック付きインターロック又はスイッチに関連して、アクチュエータユニットはヒンジ式やスライド式ドアに適しています。特に折り重ね式ヒンジドアに適します。ガードは外側からドアハンドルを回す事により、開閉出来ます。

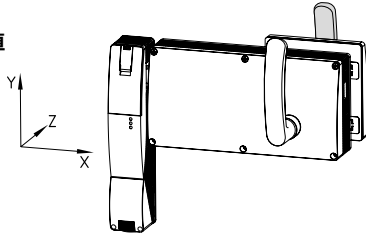
アクチュエータは、ばねによってアクチュエータユニットに引き込まれます。緊急脱出機能付きアクチュエータユニットは、危険領域の内側からガードを開ける時に使います。緊急脱出機能を使う事により、電磁ロック付きインターロックを解除する事なく、危険領域の内側からガードを開ける事が出来ます。ガードは内側からはロック出来ません。

アクチュエータユニットの許容値

X = ± 1.5 mm

Y = ± 5.0 mm

Z = ± 1.0 mm



3. 取り付け

3.1 通常取り付け方法



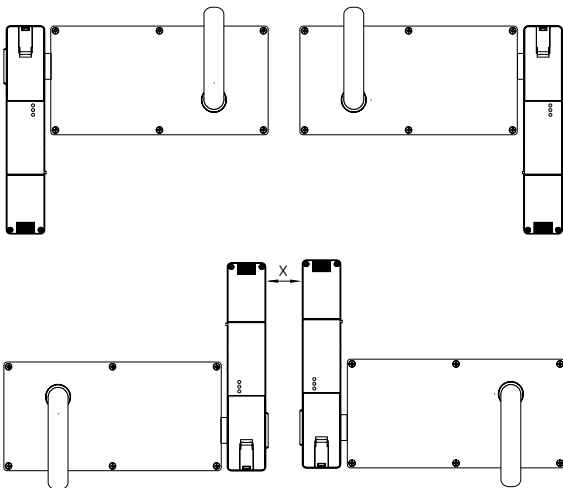
取り付けは資格のある人のみが行ってください。

2つの機器の最小間隔X: 100 mm

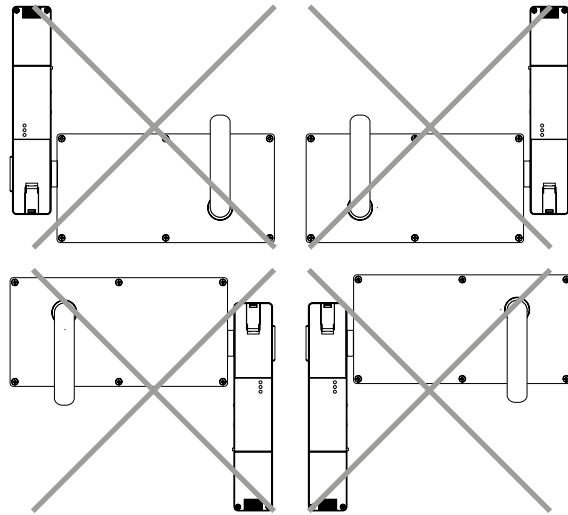
人間工学的な理由から、閉じている時は垂直ハンドル位置を推奨します。

許容された取り付け

AZ/AZM201-B40アクチュエータユニットは、4本のネジで平らな面に設置してください。



許容されない取り付け



3.2 取り付けオプション

緊急脱出機能付き	右側ヒンジドア	
	左側ヒンジドア	
緊急脱出機能なし	右側ヒンジドア	
	左側ヒンジドア	



ドアの最小半径は400mmです。

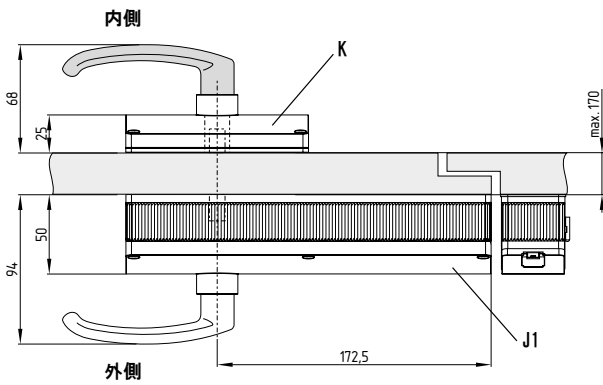
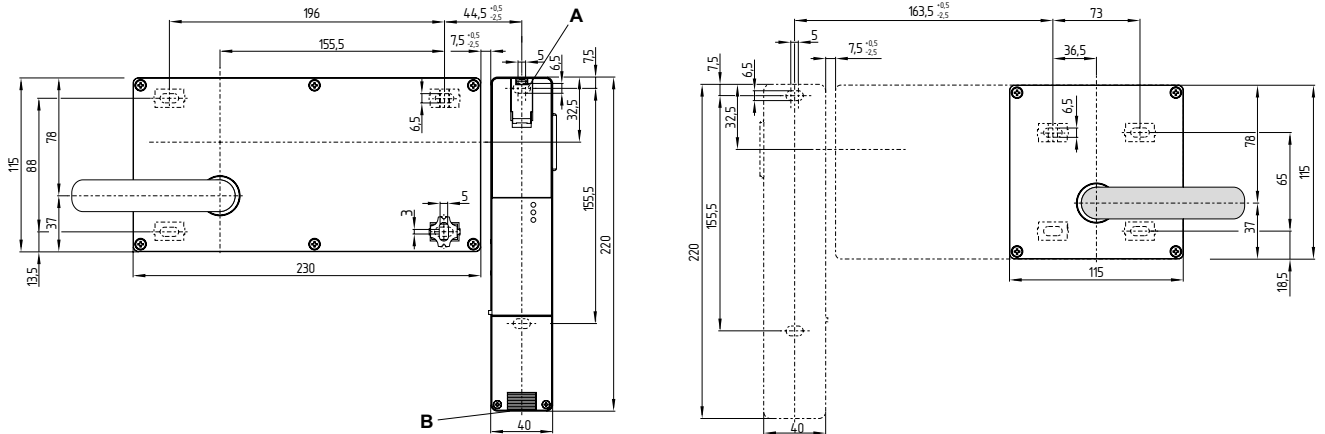
想定条件:

- 40 mmプロファイル
- 電磁ロック付インターロックとアクチュエータユニットとの距離 7.5 mm
- 40mmプロファイル用の標準ヒンジを使用します

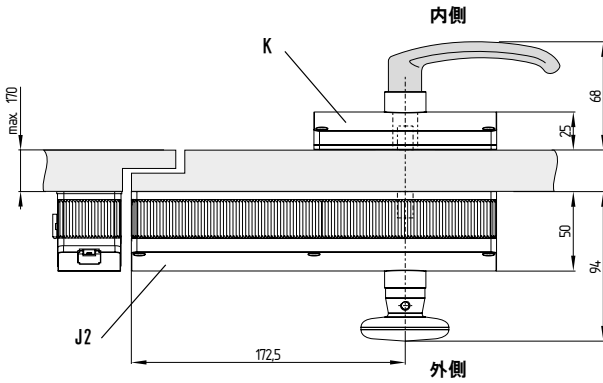
3.3 外形図

全ての寸法表記はmm

G1アクチュエータユニット 及び、P1緊急脱出付きAZ/AZM201



G1アクチュエータユニット 及び、P1緊急脱出付きAZ/AZM201

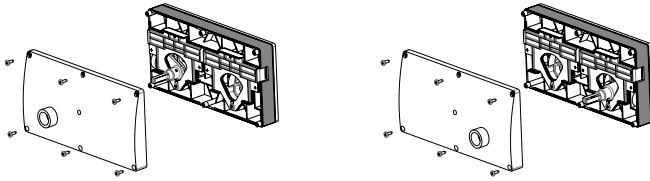


記号説明

- A = 手動解除
- B = ケーブル引込口 M20 x 1.5
- J1 = ドアハンドル G1付きアクチュエータユニット
- J2 = ドアハンドル G2付きアクチュエータユニット
- K = 緊急脱出機構 P1

ステップ 3

- ・ アクチュエータユニットのカバーネジを緩めます

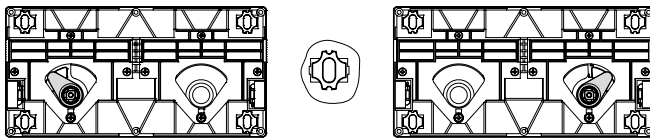


ステップ 4

図の様に、スライドブロック (アクチュエータユニットAZ/AZMIに同梱) を挿入します。

遵守事項:

- ・ リングブロックの位置合わせ (ノッチ) を遵守してください



ステップ 5

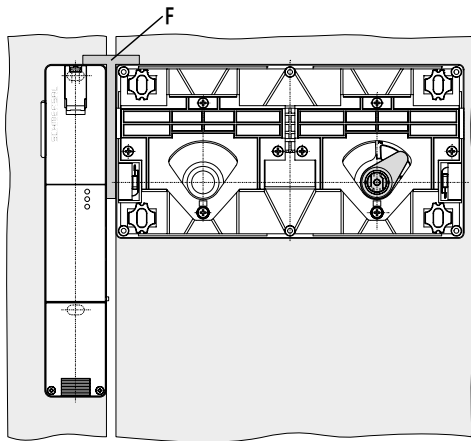
- ・ アクチュエータユニットを、スペーサーFを使ってドアポストに固定してください: (7.5 mm)

遵守事項:

- ・ アクチュエータユニットは完全に引っ込めてください。
- ・ 電磁ロック付きインターロックと アクチュエータユニットとの距離 7.5mm+0.5/-2.5

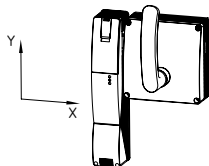
アクチュエータのハウジングは4つのM6ネジで平らな面に固定

- ・ 締付トルク = 8 Nm
- ・ 機器の壁厚 8 mm (ステップ 11参照)
- ・ ワッシャー ISO 7089 - 6 (納入時付属)
- ・ 強い振動のあるアプリケーションでは、ネジを適切に固定してください



公差

- X = ± 1.5 mm
- Y = ± 5.0 mm

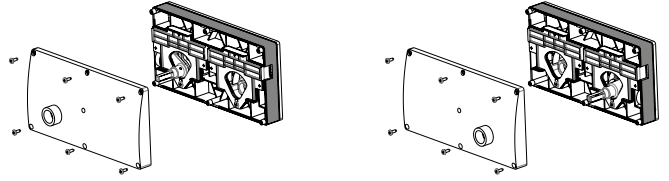


ステップ 6

アクチュエータユニットの上にカバーをのせる

遵守事項:

- ・ アクチュエータユニットは完全に引っ込めてください。

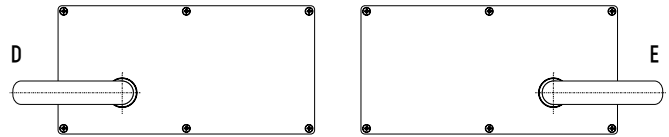


ステップ 7

ドアハンドルをつける

遵守事項:

- ・ P1 ドアハンドルを 水平につける
- ・ D = 左側ヒンジドア
- ・ E = 右ヒンジドア
- ・ ネジロック (納入時付属) 付き六角ネジ A/F 3
- ・ 緊急脱出なしで取り付ける場合、ステップ 16を進めてください

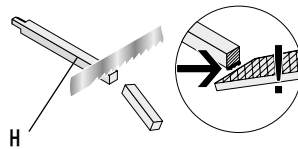


ステップ 8

緊急脱出機構がある場合、ドアハンドル接続バーHを規定の長さにカットしてください。カット面のバリ取りをして下さい。

遵守事項:

- ・ 最大ドア厚 S = 170 mm
- ・ ドアハンドル接続バーHの切る長さ
 - P1: L = S + 22-2 mm
 - P20: L = S + 28 mm
 - P25: L = S + 24 mm
- ・ ドアハンドル接続バー H用貫通穴 Ø 16 mm

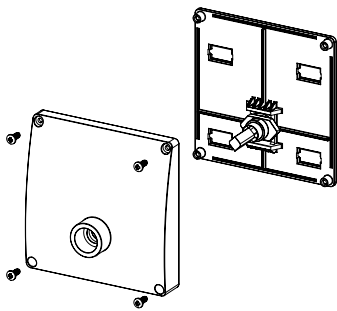


・ 取り付けに関して

- 緊急脱出機構 P20の取り付けは第14節以降を参照
- 緊急脱出機構 P25 の取り付けは第16節以降を参照

ステップ 9 - 緊急脱出機構 P1の組み立て

- ・ 緊急脱出機構 P1のカバーネジを緩めます

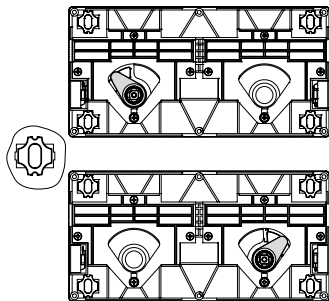


ステップ 10 - 緊急脱出機構 P1の組み立て

緊急脱出に関して、図の様にリングブロック（納入時付属）を挿入します。

遵守事項:

- ・ リングブロックの位置合わせ（ノッチ）を遵守してください

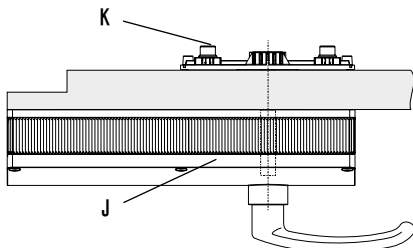


ステップ 11 - 緊急脱出機構 P1の組み立て

- ・ 緊急脱出機構P1の底部プレートを、ドアに固定します。

遵守事項:

- ・ アクチュエータはアクチュエータユニット Jに完全に挿入します
- ・ 緊急脱出機構 K とアクチュエータユニット Jは平行に設置してください
- ・ ネジ M6
- ・ 締付トルク = 8 Nm
- ・ 機器の板厚 8 mm
- ・ ワッシャ ISO 7089 - 6（納入時付属）
- ・ 強い振動のあるアプリケーションでは、ネジを適切に固定してください

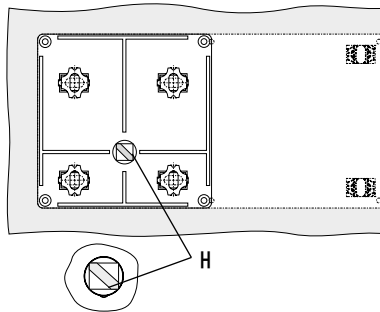


ステップ 12 - 緊急脱出機構 P1の組み立て

- ・ ドアハンドル接続バーHをアクチュエータユニットの裏側から挿入します

遵守事項:

- ・ 接続バーの面取りした方を緊急脱出機構に挿入し、カットした方をアクチュエータユニットに挿入します。アクチュエータユニットが操作されている時には、面取り部は図の様になります。



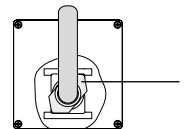
ステップ 13 - 緊急脱出機構 P1の組み立て

- ・ カバーとハンドルを緊急脱出機構に固定します。

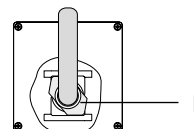
遵守事項:

- ・ アクチュエータユニットが操作された時は、ドライブシャフトは図の様になります
- ・ 緊急脱出ハンドルの機能テスト:
危険領域内からガードが開けられる事; 内部でロックがかけられない事.
緊急脱出機構のハンドルは、ガードが閉じた時に上向きでなければなりません。
- ・ 組立がうまく出来たら第17節以降を参照してください

左ヒンジドア



右ヒンジドア

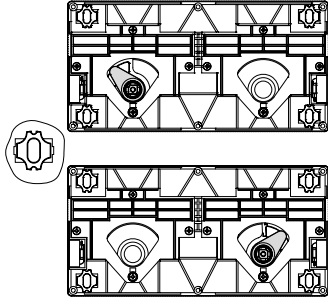


ステップ 14 - 緊急脱出機構 P20の組み立て

緊急脱出に関して、図の様にリングブロック（納入時付属）を挿入します。

遵守事項:

- ・ リングブロックの位置合わせ（ノッチ）を遵守してください



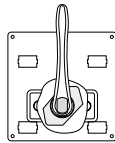
ステップ 15 - 緊急脱出機構 P20の組み立て

緊急脱出機構 P20 をドアに固定します

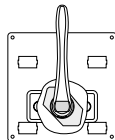
遵守事項:

- ・ ドアハンドル接続バーHをアクチュエータユニットに挿入します、面取りの方向を確認ください（ステップ 12 参照）
- ・ 長穴の位置に注意
- ・ アクチュエータはアクチュエータユニットJに完全に挿入します
- ・ 緊急脱出機構 P20 はアクチュエータユニット Jと平行です
- ・ ネジ: M6
- ・ 締付トルク = 8 Nm
- ・ 機器の板厚 8 mm
- ・ ワッシャ ISO 7089 - 6（納入時付属）
- ・ 強い振動のあるアプリケーションでは、ネジを適切に固定してください
- ・ 緊急脱出機構 P20を組み立てたら、第17節へ進みます

左ヒンジドア



右ヒンジドア



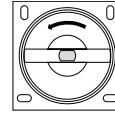
ステップ 16 - 緊急脱出機構 P25の組み立て

緊急脱出機構 P25 をドアに固定します

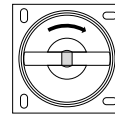
遵守事項:

- ・ ドアハンドル接続バーHをアクチュエータユニットに挿入します、面取りの方向を確認ください（ステップ 12 参照）
- ・ 長穴の位置に注意
- ・ アクチュエータはアクチュエータユニット Jに完全に挿入します
- ・ 緊急脱出機構 P25 はアクチュエータユニット Jと平行です
- ・ ネジ: M6
- ・ 締付トルク = 8 Nm
- ・ 機器の板厚 8 mm
- ・ 強い振動のあるアプリケーションでは、ネジを適切に固定してください

左ヒンジドア



右ヒンジドア

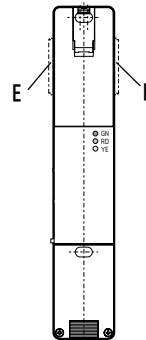


ステップ 17

使用していない方に防じんカバーを嵌め込みます。

遵守事項:

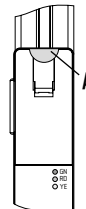
- ・ D = 左ヒンジドア
- ・ E = 右ヒンジドア




ステップ 18

運転開始後は、納入時に付属しているシールで、手動解除を確実に塞ぐ必要があります。

- ・ 手動解除 Aのカバーをシールします。



4.1 セットアップチェックリスト



チェックリスト セットアップとメンテナンス

セーフティハンドリングシステム AZ/AZM201のチェック
機械の試運転と定期メンテナンスの範囲内では、AZ/AZM 201で構成されるセーフティハンドリングシステムの以下の項目、対応するアクチュエータ、それに緊急脱出機構は専門家がチェックして検査しなければなりません。

1. 固定:
全ての固定ネジを装着し一定のトルクで締め付けること。

2. 距離:
セーフティスイッチAZ/AZM 201とアクチュエータとの距離7.5 +0.5/-2.5 mmを守ること。

3. 緊急脱出ハンドル:
ロックした後、ドアが正しく閉じられているかチェックすること。
ガードは危険領域内から開けられること。
ガードは内部からロック出来ないこと。
ガードは危険領域内から開ける事が出来ること。
ガードは危険領域内でロック出来てはいけません。
緊急脱出ハンドルは、閉じた時に上を向いていること。
4. 緊急脱出ハンドル用ステッカー（納入時に付属）:
ステッカーは見える様に貼ること。

5. 防塵キャップ:
防じんカバーがきちんと閉まっていること。

6. 機能テスト:
アクチュエータが電磁ロック付きインターロックの範囲にあって、
ロックされている場合にのみ安全出力が安全回路に伝送されているか確認すること。

LED	状態
緑	動作電圧
黄	アクチュエータの挿入（及び AZM201でロック）
黄色点滅	アクチュエータは挿入されているがロックされていない（AZM201のみ）
赤	エラー

7. 手動解除のカバー:
アクセスカバー又はアクセス穴はシールされていること。（AZM201のみ）

日付 / 署名: